

## 第 1 1 回数理解究科課題研究発表会

3月16日（木）、第11回数理解究科課題研究発表会が行われ、2年数理解究科（現3年生）が、1年間継続してきた理科や数学の研究成果を発表しました。研究の内容はもちろん、プレゼンテーションの技術も併せて審査されるので、各グループには緊張の表情が多くみられました。審査の結果、6月8日（木）に行われる長崎県理数科高校課題研究発表大会でのステージ発表に、以下の2グループが推薦されます。

『長崎県産カワヨシノボリの生殖的隔離の可能性について（生物）』太田 翔・市丸 智規  
『ポリアの壺（数学）』中島 誠拓・中村 友哉・西川 真叶

